



会津総合運動公園周辺地域

くらし・商業・工業・農業といった多様な機能がバランスよく発展するまち

地域づくりの背景

- 会津総合運動公園は、市民の多様なスポーツ・レクリエーションの拠点としての整備が求められています。
- 会津若松工業団地や一ノ堰工業団地が整備され、本市を代表する工業地帯を形成しています。
- 水稲に加え、会津身不知柿や会津人参などの特産物の栽培が盛んであり、地域特産物をいかした農業振興が求められています。
- 地域の北部は、宅地化や商業施設集積により人口が増加しており、良好な住環境の整備が求められています。

地域づくりの目標

- ★ 市民の憩いの場となる潤いのあるまちをつくる
- ★ 商業と工業が調和した活力あるまちをつくる
- ★ 地域特産物をいかした農業が盛んなまちをつくる
- ★ 安心して暮らせる住環境が整備されたまちをつくる

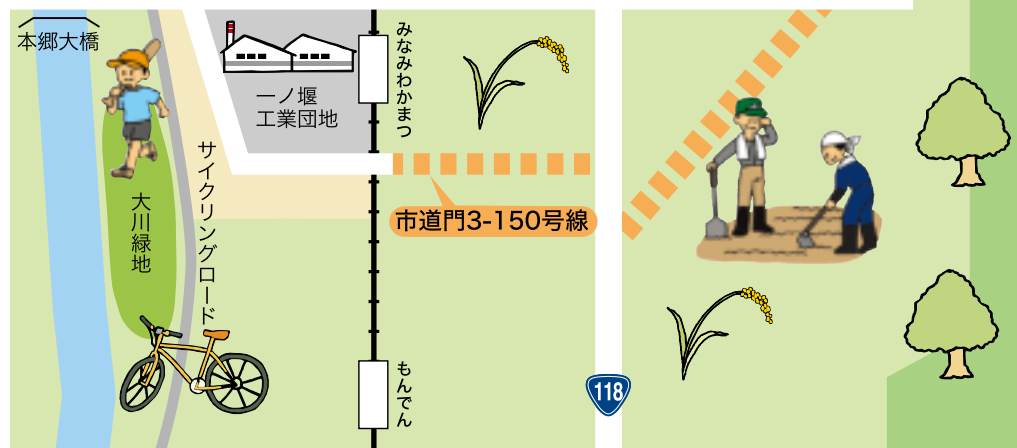
地域づくりの方針

- 会津総合運動公園は、市民の憩いの場、さらには、スポーツの拠点として計画的な整備を推進します。
- 地域経済を支える工業地帯としての環境の整備を推進します。
- 会津身不知柿など、地域特産物のブランド化を図り、特色ある産地づくりを推進します。
- 農業生産基盤の整備と併せ、担い手の育成や生産性の向上に取り組み、効率的で安定的な農業経営の確立を図ります。
- 身近な道路の整備や汚水処理事業の推進など、良好な住環境の整備を推進します。



会津若松工業団地

会津総合運動公園



主な取り組み

- 会津総合運動公園(陸上競技場等)の整備
- 会津身不知柿や会津人参など特産物のブランド化の推進
- 城南地区コミュニティセンターの整備
- 市道幹 I - 17号線の整備推進
- 市道門3 - 150号線の整備推進
- 個別生活排水処理施設の整備
- 漆器など地場産業の経営基盤強化への支援
- 認定農業者等の担い手の育成
- 国道118号(亀賀門田線)の整備推進
- 市道幹 I - 22号線の整備推進
- 公共下水道の整備